



温かい浄財を集め

スポーツ振興財団を設立

市民のみなさんがスポーツに親しんだり、楽しんだりできるよう、また、スポーツがますます盛んになるよう、手助けする「財団法人平塚市スポーツ振興財団」が、昨年十二月四日県教育委員会から認可され、スタートしました。この財団は、平塚市が三年間で一億五千万円を出資し、市民のみなさんから五千万円を寄付していただき、二億の基金をもとに、その果実を運営していきます。スポーツ財団としては、横浜市、大和市に続いて県で三番目です。市民のみなさん、温かく育てていきましょう。

「スポーツに関する情報の収集及び提供」

市民のみなさんが自主的に自分の能力に応じたスポーツ活動ができるように、情報を提供するため、電話の設置と、情報紙「スポーツひろつか」を随時発行します。

「スポーツに関する資料室の収

体育課に事

運動の激しい現代社会の中で、市民のみなさんが健康を保つには、スポーツの果たず役割が、大重要となつてきています。また、余暇活動の増大により、スポーツに訴へる欲求もますます高まっています。

会体育課（附財団体育館）に事務局を設け、運営は、体育協会、体育振興会、体育指導委員、レクリエーション連誼等の代表、大人の構成による理事会、理事長、勝井勝太郎によって行われまふ。

体育局を置く

設立した財団法人、金塚市スポーツ振興財団は、教育委員

見附台体育館内に、スポーツ医学やスポーツ等の文献を収集し、市民に提供します。
「スポーツ愛好者へのサービス事業」
1 スポーツ愛好者の利便を考慮し、スポーツ用具の貸し出しを

財団の主な事業は

平塚市では、これらの要求にこたえ、めざすスポーツの振興とレクリエーション活動の普及を、市民のみなさんがスポーツに親しめるよう「市民スポーツの日の実施」す。

昭和六十三年度の財団の実と国際大会活躍した事をたたえる「集い」を開きます。

二億円の基金を

しかし、市民のみならずのスポーツ活動による欲求は、年齢・能力・関心などに応じて、多種多様にあります。このために、市民のみならずが生涯にわたりスポーツ生活の習慣を身につけるための「**習合の開催**」は、コナニ、見るコナニ、催し物コナニなどを設けて、日差しをもらいます。会場は総合公園です。**（スポーツに関する教案、講いたなき、二億円を目標にしています。）**

財団の基金は、今年度から市民が五千万円ずつ、三年間で億五千萬元増やす、市民の収入などから五千万円の浄財を五

置いて、スポーツ基金に協力していただいているところもあります。

[illegible]

会を開く—
日(土)午後2時～4時
民館ホール
之進氏
会場へお出かけを。
締め切ります。

人平、選挙スポンサー振興財団を設立し、市民のみなさんへ明らかに、安心してのびやかに親しめるよう、中核団体としての役割をさせることになりまし
た。

――市民のスポーツ活動
（スポーツ団体等に対する助
成と援助）

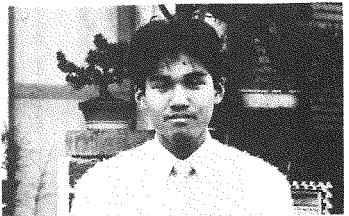
――市民のスポーツ活動
に対する奨励です。次に全国
大会の開催の大会に出場する
選手の派遣補助と、全国大会
三十万円など、温かい寄附が
寄せられているように。

――崇善地区のうちに、財団
設立される前、地区でクラ
イエーション、大倉館に募金箱
回したり、公民館に募金箱

講演
とき 2月6日
ところ 中央公
講師 古橋広
※希望者は、直接
満員になりしだい

20歳の主張を述べる本山さん

成人記念作文で優秀賞に輝き、成人式で20歳の主張を発表する本山俊幸さんの作文を紹介する。小澤潤子さんの作文は6面に。



受賞の喜びを語る本山俊幸さん、将来は、
中学校の先生になりたいそうだ。

今月の話題

市の豆米

- 131 -

私はジュニア・リーダーとして、今日まで子供会の活動に参加してきましたが、振り返ってみると、子供たちから教えられることが多く、私は表面ばかりを大切にしてきた

場にあると思います。しかし、私は子供の心をつかむという最も基本的でありながら、かつ大切なことを忘れていたのです。

として、訪中するという貴重
な体験をしました。

言葉は通じなくても、いつ
でも笑顔を絶やさず、細かい
所まで気を配ってくださった
中国の方々の親切を、今でも
忘れることができません。

あの時、子供会の活動に参
加している自分、何が欠け
ているのかわかったような気
がしました。

よく子供会の集まりで、
あんなに皆が揃って、歌
に合わせ、手足を叩くするデ
ームをリードしていたこ
ろ、何も聞えなかつたか
のようにまた突つ立っている子
供がいた。

私は訳聞かず、頭をなし
にしかつてしまつたので
おろ、その時に気がついた
時、彼はすでに泣き出た後
でした。

ジュニアリーダーは、子
供たちをまぐさ支えをいく立
います。

私自身に刻みつけたいと思
ひます。私は子供会をちゃんと楽し
く、子供たちにもちゃんと夢を
与えてあげたいという希望をも
つたために、限られた熱
意で、誠実なコミュニケーション
の姿勢をとり、他には
ありません。

今日からは、後輩の育成に
努めるとともに、私が目指
す者としての力量を身に付け
るよう頑張っていきたいと思
います。

基本構想は特別委員会で審議

主な内容は、個人市民税の所得割及び分離課税にかかると十三年度に備へての準備的な経費、その他当面必要とする諸経費について、所要の補正十三段階から七段階に緩和し措置を講じている。

算と合わせると、一般会計の予算規模は五百二十七億五千万円となった。

主な内容を見ると、民生費

方沖地震は、千葉 銚子 勝
浦で震度5の強震を記録し
た。

この強い地震で、千葉県方
面では、多くのブロック塀な
どが倒れ、二人の方が亡くな
る。

とか、転倒防止の控え壁
けていないなどの、施工
欠陥によるものがほとん
ど。

市民の皆さん、このよ

保留地を知

破産者で復権を得ない者
競争入札において不正な
取引をした者は落札者
とならないことである。
議決を提出することである。

基き事業計画変更の総覧を
行つてこの事業計画変更
に賛見があるときは二月十五日
（月）までに異議事項を意見
書を提出することである。

内線二五二へ

良PTA 彰
しこ小学校
丘小学校



市民相談

100

1月30日にテレビ放映

一億総アルムといわれる
ほかに和食・洋食・中華
さらにエス・エス料理など
と、日本は豊かなな生活
を築き、テレビで料理
番組は花盛りである。
このグルメの元祖にわ
れる人、村井弦斎明治の
ころ平塚に住んでいたの
である。さぞとて、村井弦
斎が住んでいたところ、松
風町近を訪ねてみた。

グ
ラ
ツ
そ
の
一
を
...

平塚市では、地震の直後「その瞬間」の行動を、一般家庭百五件を対象にアンケート調査を行った。

その結果「負傷」、火を使っていた家庭（二十九件）では、いち早く火元を消したという人が百で、受けたけい出火などの二次災害が未然に防がれていた。このような「目玉の心構えが大切」ということが確認されたが、市民の皆さんも、身の安全を守るため家具類等の転倒対策を進めておう。

【アンケートの結果】

①燃焼座席、襟染座席者	76
②座席にいた	29
③火を使っていた	84
④使っていない	21

火を消したか

	5時	(土曜日午後前中)	
	3火を消したか	29	
①消した	0	0	
②消さなかった	4地震のとき、まず何をしたら		
	か		
③その場で様子を見た	36		
④火の始末をした(ガスなどの栓、電気コードぬく)	37		
⑤戸外に出た	10		
⑥その場場の安全を図った	17		
⑦玄関の戸を開け避難路の確保をした	1		
⑧テレビを見た	1		

●入札する保留地

◇保留地番号 106
 地地番 平塚市平塚字東町後2023-13
 地積 56.40㎡

◇保留地番号 111
 地地番 平塚市平塚字中里町1151
 地積 122.60㎡

◇保留地番号 113
 地地番 平塚市平塚字東上ノ谷1995-2
 地積 112.30㎡

◇保留地番号 117
 地地番 平塚市平塚新宿字浅間町611-1
 地積 84.23㎡

◇保留地番号 118
 地地番 平塚市平塚新宿字浅間町610
 地積 99.84㎡

1

底地番 平塚市平塚字東上ノ台1995—2
地 積 112.30㎡
◇保留地番号 117
底地番 平塚市平塚新宿字浅間町611—1
地 積 84.23㎡
◇保留地番号 118
底地番 平塚市平塚新宿字浅間町610
地 積 99.84㎡

・なでしこ小学校PTA
・松が丘小学校PTA
（役所印）

◇協賛とは ヤングテレホン
 月・金曜日 9時～16時 土曜日 11時まで
 月・土曜日 9時～18時 30分
 33—七八三〇
 福祉会館
 ◇配と相談 毎週月曜日 13時～15時
 ◇母子相談 毎週月・金曜日 9時～16時
 ◇高齢児童相談 毎週月・金曜日 9時～16時
 ◇高齢者職業相談 毎週月・金曜日 9時30分～16時
 土曜日は12時まで
 ◇婦人相談 毎月第3土曜日 10時～15時

在)

300

5007万円

62年度各会計別予算 (9月末現在)

会 計 別	予 算 額	構成費
一般会計	504億0000万円	47.7%
特別会計	551億8865万円	52.3%
競輪事業	315億2284万円	29.9%
国民健康保険事業	79億9500万円	7.6%
都市改訂事業	2億9922万円	0.3%
下水道事業	84億3697万円	8.0%
食肉センター	1億5100万円	0.1%
交通災害共済事業	6403万円	0.1%
水産物地方卸売市場事業	2709万円	0.0%
総合公園用地取得事業	3億1762万円	0.3%
老人保健医療事業	63億7488万円	6.0%
市民病院事業	43億4615万円	
交通救急センター	7億2946万円	
合 計	1055億8865万円	100.0%

62年度一般会計歳出予算

上 木 費	114億1422万円	消 防 費	18億6692万円
民 生 費	84億7970万円	農 水 費	17億1553万円
教 育 費	81億9366万円	商 工 費	9億6501万円
衛 生 費	60億8090万円	議 会 費	4億2242万円
総 務 費	50億4568万円	労 働 費	3億5847万円
公 債 費	30億2009万円	予 備 費	1億3740万円
諸 支 出 金	27億0000万円	合 計	504億0000万円

62年度の主な事業 (9月末現在)

童平住宅建設事業 (継続)	9756万円
総合公園整備事業	7億9188万円
公共下水道整備事業	53億7757万円
都市下水道整備事業 (豊田都市下水道外)	6億 571万円
排水路整備事業 (不動川外)	3億9628万円
市道改良事業 (日向岡17号線準備経費外)	21億2595万円
こみ焼却処理施設整備事業 (継続)	18億 45万円
富士見小学校校舎新築改築事業	3億1774万円
豊田小学校屋内運動場新築改築事業	2億5405万円
旭小学校校舎改修事業	3億1753万円
岡崎小学校屋内運動場改修事業	1億1350万円
土沢中学校校舎新築改築事業	7億6521万円
仮称第4金田中学校新築造成事業	6億3223万円
びわ湖青少年の家整備事業	1億3643万円
岡崎公民館新築改築事業	2億 746万円
ショッピングモール整備事業 (西口通り)	2億2982万円
農村総合整備 (モデル) 事業	1億 776万円
農道及び排水路改修事業	2億4665万円
土地改良事業費負担金	1億8368万円
食肉センター施設改修事業 (継続)	8513万円
都市計画街路事業 (大句丸島線外)	7億3698万円
橋りょう新設改良事業 (下花水橋架替外)	3億2288万円
準用河川河内川改修事業	1億4550万円
ひらつか天城山荘整備事業	2億6555万円
農道軽微改良事業	1億1583万円
総合公園II期用地買収事業	3億1762万円

平 塚 市		国	
(62年支給割合)		(62年支給割合)	
期末	勤勉	期末	勤勉
0.58月分	—	0.5月分	—
1.56月分	0.6月分	1.4月分	0.5月分
1.925月分	0.8月分	1.9月分	0.6月分
4.065月分	1.4月分	3.8月分	1.1月分

平 塚 市		国	
自 己 都 合	勤 奨 ・ 定 年	自 己 都 合	勤 奨 ・ 定 年
23.00月分	41.25 月 分	21.0 月 分	28.875 月 分
31.00月分	52.8 月 分	33.75月分	44.55 月 分
52.5 月 分	75.075月分	47.5 月 分	62.7 月 分
52.5 月 分	75.075月分	60.0 月 分	62.7 月 分
制度無し		定年前早期退職特例措置 (2 ～ 20％加算)	
続10年以上20年未満…………… 1号給		退職時特別昇給…………… 1号俸	
続20年以上…………… 2号給			
リ	自 己 都 合	勤 奨 ・ 定 年	
職種	1,469千円	23,330千円	
	5.7年	25.8年	

2階的に引き下げ中である。

平塚市の財政は、市民の皆さんに納めていただいた税金を主体に、国や県の支出金、競輪の収益金、市債(借入金)などにより運営されている。それでは、このお金が市民のためにどのように使われているのか、市総務部財政課が昭和六十二年(昭和六十二年四月一日〜九月末)の財政状況を公表したのでお知らせしよう。また、市企画部職員課が市職員の給与状況についても公表したのでお知らせする。詳しい内容については、それぞれ担当課におたずねを。

市財政と職員の給与状況を公表

市の台所です。よく見てください



節分 (2月3日) 三宅貞子さん (山下) の作品

職員の給与状況表の見方

- ①表1、表2については、全国的に比較しやすい普通会計(一般会計と都市改訂事業会計)によっている。
- ②表6、表7については、自治省が実施した給与実態調査の資料による一般行政職に技能労働職を加えた。
- ③表8については、全会計(全職員)ベース。

9. 特別職の報酬等の状況 (62年4月1日現在)

区 分	平 塚 市
給料(月額)	市長 806千円 助 役 660千円 収入 役 571千円
報酬(月額)	議 長 468千円 副 議 長 407千円 議 員 376千円
期末手当 (62年支給割合)	市長 3月期 0.5月分 助 役 6月期 2.06月分 収入 役 12月期 2.54月分 計 5.1月分 議会関係も同様の支給割合

職員の給与状況を公表

1. 人件費 (普通会計決算)

区 分	住民基本台帳人口(年度末)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率(B/A)
61年度	62年3月31日 230,735人	千円 61,895,653	千円 2,577,947	千円 13,044,005	21.1%

※ 人件費には、特別職に支給される給料、報酬等を含む。

2. 職員給与と費の状況 (普通会計予算)

区 分	職員数 A	給 与 費			計 B	一人当り 給 与 費 (B/A)
		給 料	職員手当	期末・勤 励 手 当		
62年度	1,753人	千円 5,787,683	千円 2,161,468	千円 2,917,609	千円 10,866,760	千円 6,199

※ ①職員手当には、退職手当を含まない。

②給与費は、当初予算に計上された額。

3. 職員の平均給料月額及び平均年齢の状況 (62年4月1日現在)

区 分	一 般 行 政 職		技 能 労 務 職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
平 塚 市	281,242円	40.0歳	256,011円	46.0歳
国	236,872円	39.6歳	215,689円	47.5歳

4. 職員の初任給の状況 (62年4月1日現在)

区 分		平 塚 市		国	
		決定初任給	採用2年経過 日給与月額	決定初任給	採用2年経過 日給与月額
一般行政職	大学卒	135,300円	149,200円	I種 123,600円	144,400円
	高校卒	107,700円	115,900円	Ⅲ種 99,500円	105,900円
技能労働職	22歳 (甲表)	121,600円	135,300円	—	—

5. 職員の経験年数別・学歴別平均給与月額状況 (62年4月1日現在)

区 分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年
一般行政職	大学卒 219,600円	258,700円	308,400円
	高校卒 177,400円	219,600円	274,000円
技能労働職	22歳就職 189,900円	243,500円	279,900円

※ 経験年数とは、卒業後直ちに採用され、引き続き勤務している場合は、採用後の年数をいう。

6. 一般行政職等の等級別職員数の状況 (62年4月1日現在)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	技労働
標準的な職務内容	主事補 技師補	主 事	主 任	副主 査	係 長	課 長	課 長	部 長	技労働
職員数	5人	105人	208人	100人	352人	55人	131人	42人	571人
構成比	0.3%	6.7%	13.3%	6.4%	22.4%	3.5%	8.3%	2.7%	36.4%
区 分	5等級	4等級	3等級	特3等級	2等級	1等級	技労働		
標準的な職務内容	主事補 技師補	主 事	主 任	係 長	課 長	課 長	部 長	技労働	
1年前の構成比	1.6%	7.7%	23.8%	17.7%	8.1%	2.7%	36.4%		

※ 平塚市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数。標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名をいう。なお、等級制度から級制度へ昭和61年5月1日に移行した。

7. 特別昇給の状況

区 分		合 計	一般行政職	技能労働職
61年度	職 員 数 (A)	1,569人	998人	571人
	普通昇給期間を短縮して昇給した職員数 (B)	19人	11人	8人
	比 率 (B)／(A)	1.2%	1.1%	1.4%
60年度	職 員 数 (A)	1,578人	1,001人	577人
	普通昇給期間を短縮して昇給した職員数 (B)	22人	14人	8人
	比 率 (B)／(A)	1.4%	1.4%	1.4%

駐車場で定期券を発行

●紅谷町駐車場 ……………90枚

午前8時から午後10時まで入出庫できる
※日曜日、祝日、七夕期間中は利用できない。

●錦町駐車場 ……………80枚

24時間利用可能

※日曜日、祝日、七夕期間中は利用できない。

・利用期間 4月1日から64年3月31日まで

・定期料金 1か月10,000円

・問い合わせ 市開発公社 電話23-1111 内線335

申し込み受付 二月一日 から七日
(日)まで、両駐車場では受付
用紙配布 一月十一日 (木) から三十
一日(日)まで両駐車場と市民相談室土
日除くで配布。

国連平塚支部創立35周年記念

中国友好視察団募集

◇日程 5月23日(月)〜30日(月)

◇行程 平塚—北京2泊—西安2泊—桂林2泊—香港
1泊—平塚

- ・募集人員 50人(先着)
- ・締め切り 2月29日まで
- ・費用 251,000円(初回に50,000円、残金は後日)
- ・申し込み 近畿日本ツーリスト平塚支店(電話23-2811)
- ・問い合わせ 地域づくり課市民文化係(電話23-1111)

